

まも たの はなび ルールを守って楽しい花火

はなび きけんぶつ
おもちゃ花火は危険物です。
ちゅういしょ しょうほうほう よ あんぜん たの あそ
注意書や使用方法をよく読み、安全に楽しく遊びましょう！

1 まわりの迷惑にならない場所と時間で遊びましょ



2 花火を人や家にむけたり、燃えやすいもののそばで遊ばない。

はなび ひと いえ も あそ
服に火がつかないよう気をつけましょ。



3 大人といっしょに遊び、夜遅くまで騒がない。

4 水の入ったバケツを用意し、後かたづけをきちんとする。



5 たくさんの花火に一度に火をつけるとキケンです。

6 花火の筒先に顔や手を絶対に出さないこと。点火する時や途中で火が消えたときは、特に注意ましょ。

7 風の強い日は花火遊びはやめましょ。



8 正しい位置に正しい方法で点火ましょ。

花火のミニ知識

それまで大名の贅沢であった花火が町の文化として普及したのは江戸時代です。大和（奈良）から来た弥兵衛がおもちゃ花火の大ヒット作を生み出し、花火屋「鍵屋」の歴史が始まります。鍵屋8代目の頃、番頭の清七にのれんわけをし、文化5年（1808年）玉屋が開業します。

大川の川開きに行なわれた花火大会では上流を玉屋が、下流を鍵屋が陣取り見物客たちの「たーまやー」「かーぎーやー」の歓声とともに花火の美しさを競い合いました。しかし玉屋は天保14年（1843年）に出火し、街の半町ほど類焼させてしまいます。所払いという処分江戸を追放となり、玉屋は断絶しました。

